

白 河

謹賀新年

広報

1

2016.1.1 No.122



■朝日を背に羽ばたく白鳥（阿武隈川／12月12日）

皆様と共に叡智^{えいち}を結集し、 住みよいまちを創っていきましょう

誇りと愛着の感じられる白河市を 共に築いてまいりましょう

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、清々^{すがすが}しいお気持ちで輝く新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本市は、市民の皆様と執行部、議会が協働して市政を展開してきた結果、震災からの復興と共に新しい数々の施策や事業が実を結んできました。昨年は、ふくしまステイションキャンペーンやご当地キャラこども夢フェスタinしらかわ等で多くの観光客が本市を訪れ、その後も、市内の名所旧跡を散策する方々が大変増えてきました。また、表郷公民館、聖ヶ岩ビジター

新年あけましておめでとうございます。皆様には輝かしい初春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、伝統工法で甍^{むすぶ}った小峰城の石垣と三重櫓^{むすぶ}が一般開放され、国道4号4車線は薄葉地内まで延伸、国道294号白河バイパスの整備も着実に進められています。また、愛称が「コミネス」に決まった文化交流館は開館に向け急ピッチで工事が進み、三菱ガス化学(株)も工場の建設に着手するなど、目に見えて変化が感じられる一年でした。

さて日本は、かつて経験し

センターが完成し、きつねうち温泉もリニューアルオープンしました。さらに、白河中央中学校が間もなく完成し、大信地域市民交流センター、釜子小建設事業も順調に進んでいます。他に国道4号4車線化、国道294号白河バイパス事業、三菱ガス化学(株)の第1期工事も進行しています。本市の歴史的シンボルである小峰城は本丸南面の石垣と三重櫓の修復が完了し、荘厳で美しい姿を見学できるようになりました。また、図書館西側では白河文化交流館の建設が着々と進み、秋には竣工の予定となっています。那須の山々と阿武隈川を借景に、歴

たことのない人口減少の時代を迎え、地方創生の取り組みが本格化しています。本市でも人口ビジョンを踏まえ、

- ①安定した雇用をつくる
- ②若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ③新しい人の流れをつくる

の三本柱から成る総合戦略を策定しました。

引き続き、農業を含む地域に根ざした産業支援を行うとともに、企業の誘致を積極的に進め、雇用の場を創出します。また、子どもを産み、育てやすい環境の整備を図り、医療や介護、教育の充実に努めてまいります。さらに、歴史資源を活かした観光に取り

引き続き、農業を含む地域に根ざした産業支援を行うとともに、企業の誘致を積極的に進め、雇用の場を創出します。また、子どもを産み、育てやすい環境の整備を図り、医療や介護、教育の充実に努めてまいります。さらに、歴史資源を活かした観光に取り

組むほか、ご当地キャラなどの楽しいイベントを通して、交流人口の増加を目指してまいります。

足元を見れば、私たちの地域には素晴らしい宝物があります。ないものねだりではなく、あるものを自らの知恵と工夫で活かしていくことが魅力的な地域を創ります。こうした考えのもと、今年も市民の皆様と共に誇りと愛着の感じられる白河市を築いてまいります。

結びに、本年が皆様にとって実り多き一年となりますことをお祈り申し上げます。

史が刻み込まれた小峰のお城と駅舎、そして近代的な建物群が調和した白河駅周辺は、本市の新たな顔として期待されるところです。

昨年夏の改選で皆様の負託を受けました26人の市議会議員は、3期目当選の鈴木和夫市長を先頭とする執行部と協力し、皆様と共に叡智を結集して住みよいまちを創っていく覚悟しております。皆様の尚一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとってすばらしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。



白河市議会議員 高橋光雄

白河市長 鈴木和夫



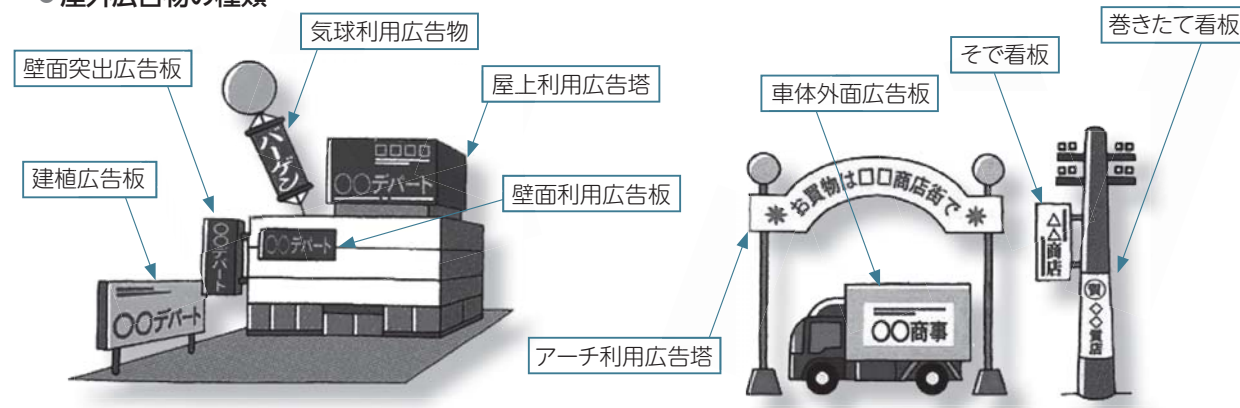
屋外広告物の設置ルールが変わります

屋外広告物のルール

《屋外広告物とは》

「常時または一定の期間、継続して屋外で公衆に表示されるもの」を屋外広告物（以下広告物）と言います。その種類は多く、建物の屋上や壁面などに設置されるもの、野立広告、アドバルーンなど様々な種類があります。商業広告だけでなく、営利を目的としないものも該当します。

●屋外広告物の種類



《屋外広告物のルールとは》

良好な景観の形成や公衆に対する危害防止の観点から、市では「屋外広告物法」に基づき、「白河市屋外広告物等に関する条例」を制定し、広告物の表示または設置に関するルールを定めます。

条例では、広告物を表示してはいけない禁止地域や禁止物件を定めているほか、表示しても良い地域（許可地域）にも、面積や高さ、色彩などの基準を設けています。

なお、広告物を表示または設置するときは、事前に許可が必要となります。

《適正な維持管理》

広告物が適正に管理されていないと、落下や倒壊、あるいは道路通行上の支障となり、歩行者などに危害を及ぼす恐れがあります。

広告物を設置されている方は、定期的に点検を行うなど、適正な維持管理をお願いします。

■屋外広告物条例施行後の普及・啓発等の取り組み

条例の施行後は、広告物の質的向上を目指し、条例の許可基準に加え、高さ・面積・色彩・材料等の広告物の表示および設置に関する推奨基準を盛り込んだ広告物ガイドラインを策定し、良好な景観形成の模範となる屋外広告物をたたえる表彰制度等を設けていきます。

あわせて、広告物を設置する方や事業者の皆さんの広告景観に対する意識を向上させるための支援などを検討し、良好な広告物のあり方の普及・啓発を推進していきます。



屋外広告は、生活に必要な情報を提供するものであり、まちに賑わいや活気をもたらす役割も果たしています。一方で、無秩序に設置されると、情報が的確に伝わらなかつたり、まちの景観を損ねたりすることにもなりかねません。そこで、市では地域の実情にあった広告物のルールづくりを進めてきました。

今月号では、4月1日から施行される「白河市屋外広告物等に関する条例」の内容などを紹介します。

◎本庁舎まちづくり推進課 内2747

条例制定の目的

平成21年に景観行政団体となった本市は、平成23年4月から景観法に基づく景観条例および景観計画を施行し、建築物や工作物等の景観誘導を行ってまいりました。

屋外広告は、これまで福島県屋外広告物条例（以下県条例）で、規制・誘導を行ってまいりましたが、県内全域が一律の基準であったため、市の景観の取り組みや景観計画と整合が図られない部分がありました。

そこで、本市の実情にあつたきめ細やかなルールをつくり、良好な景観の形成および屋外広告物の落下などの公衆に対する危害を防止するため、「白河市屋外広告物等に関する条例」を制定し、4月1日から施行します。美しい景観をつくりだすための取り組みを進めていきますので、皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

なお、屋外広告物業の登録等は、従来どおり県条例が適用されます。

■条例の主な内容

1 景観計画重点区域等で、独自の許可基準を設定

景観計画との整合性を図るため、計画に位置づけている景観計画重点区域等（重点区域、推進区域（城下町地区）、南湖から那須連峰への眺望に影響のある新白河駅周辺地区）では、屋外広告物の面積、位置、色彩等に市独自の許可基準を設けます。その他の地域は、これまでの県条例の区域区分および許可基準と変わりません。

2 経過措置

県条例の基準に適合している屋外広告物で、市条例の施行により基準に適合しなくなるものは、6年以内に改修、移転、除却等をしていただくことになります。

3 事前協議制度、完了届出制度を設定

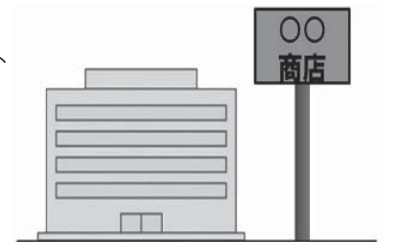
良好な広告物に誘導するため、景観計画重点区域等では、許可申請前の事前協議が必要になります。

また、適正な設置を確認するため、完了届の提出が必要になります（条例による許可を受けた広告物が対象）。

■本市の景観の取り組みと整合が図られていない事例

例 白河市景観計画推進区域「城下町地区」の高さ

景観計画では、建築物の高さの上限が15mに定められていますが、県条例では、最高20mまでの高さの広告物（建植広告板）の設置が可能です。色彩についても、彩度4以下の建築物に対し、屋外広告は、彩度12以下の色彩の使用が可能となっていて、整合が図られていません。



項目	白河市景観計画 景観形成基準（一部）	福島県屋外広告物 条例許可基準（一部）
種類	建築物	建植広告板
高さ	15m以下	20m以下
色彩	彩度4以下	彩度12以下



▲JR品川駅観光プロモーションに合わせ、駅構内で行われた観光イベント

個性あふれる観光地域をつくり、その魅力を積極的に発信し、さらに多くの観光客を呼び込むことが、地域の活性化につながるかと考え、既存イベントの拡充など、様々な観光施策を展開していきます。

DC効果を追い風にした観光施策の展開

ふくしまDCの開催期間中、本県に訪れた観光客数は、対前年比約12%増の約1,332万人を数え、八重の桜等で順調だった平成25年の約1,324万人を超える結果となりました。特に本市には、3か月で約49万人が訪れていて、前年比の83%増となりました。

この様な中、自らの創意工夫による人口減少の克服と、活性化を目指した「地方創生」の取り組みが進められています。中でも観光は、交流人口の拡大と地域経済の活性化の面で重要な柱となっています。

こうした状況を踏まえ、本市では、個性あふれる観光地域をつくり、その魅力を積極的に発信し、さらに多くの観光客を呼び込むことが、地域の活性化につながるかと考え、既存イベントの拡充など、様々な観光施策を展開していきます。

また現在、様々な場面で本市をPRするのにも有効な観光DVD「四季彩白河（仮称）」を制作して、本市の誇る歴史や伝統、自然のほか、ドローンによる空撮を収録する予定です。四

積極的に魅力を発信するため、今年度新たに観光CMやDVD等を制作しています。昨年8月には、観光CM等で関東地方から誘客を図ることを目的に「JR品川駅観光プロモーション」を実施しました。品川駅は、1日平均約60万人が利用する、日本有数のターミナル駅です。250mある自由通路には、65インチのディスプレイが44台設置されていて、そこに本市の史跡・ラーメンなどの観光資源や、東京と本市がいか

進化させたDVD等で情報を発信



▲観光DVD「四季彩白河」の中で使用されるドローンによる小峰城の空撮

また現在、様々な場面で本市をPRするのにも有効な観光DVD「四季彩白河（仮称）」を制作して、本市の誇る歴史や伝統、自然のほか、ドローンによる空撮を収録する予定です。四

■Topic
白河市観光アプリ

白河市観光アプリ「しろナビ」は便利な機能を搭載しています。現在地の観光情報を色分けし、分かりやすくしているほか、飲食店・観光地などのルート案内・音声紹介もできるようになっています。無料アプリですので、ぜひインストールしてください。

iOS 端末向け
App Store

Android 端末向け
Google Playストア

効果的な発信に受入体制を合わせるなど、観光客の満足度を高める、新しい扉が開かれています。

観光アプリを活用した受入体制

観光情報の発信に合わせ、受入体制の強化も必要となります。そこで、現在稼働している「観光アプリ」に、音声ガイド機能を追加しました。これは、観光施設を訪れた際、その史跡のいわれを音声で紹介するもので、観光施設を周遊する楽しさを作り出そうとするものです。このアプリの普及と利用促進を図るため（公財）白河観光物産協会や二ノ丸茶屋にタブレット端末を4台設置し、貸し出しを行っています。

効果的な発信に受入体制を合わせるなど、観光客の満足度を高める、新しい扉が開かれています。



東京
Tōkyōから
最短1時間10分
白河
Shirakawaへ

品川駅の通路が、白河一色になって、本当に驚いたワン!!

Shirakawa sightseeing promotion
観光の情報発信と受入体制の強化
新しい観光の扉を開く

本市には、毎年多くの観光客が訪れています。特に、昨年の4月から6月まで行われた「ふくしまステイネーションキャンペーン」(以下DC)では、来客数が県内市町村の中でトップの伸び率を記録しました。このDCの追い風に乗って、更なる交流人口の増加を目指し、現在、様々な観光施策を展開しています。今月号では「新しい観光の扉」と題し、その施策の一部を紹介します。

●本庁舎観光課 内2212

■地域づくり活性化支援事業事例紹介

活力ある地域づくりを応援

地域の特性をいかした自発的な取り組みで、地域を活性化しようとする団体に対し、市では活動経費の一部を補助しています。
今月号では、各地域の中から1団体にスポットを当て、事業への思いや意気込みなどを紹介します。

本庁舎生活環境課 内2162 / 各庁舎地域振興課
表郷 ☎ ☎ 2111 大信 ☎ ☎ 2111 東 ☎ ☎ 2111



曼珠沙華はネズミなどを遠ざける効果があります。秋には曼珠沙華の花や楓の紅葉を楽しむように植栽しています。

地域の皆さんが一同に会することができるイベントとして、「ひと足お先に桜まつり」を行っています。この祭りが好評で、「秋にも何かイベントを行ってほしい」との声が上がりました。「赤い田園の里創り」を計画しました。
曼珠沙華1万球を水田のあぜ道に、楓20本を集落内に毎年植栽しています。数年後には、12haの黄金色の水田が、赤い曼珠沙華で縁取られる予定です。
今後は、「赤い田園の里フォトコンテスト」や「曼珠沙華まつり」など、地域の皆さんが参加しやすく、楽しんでいただけるような催しを開催したいと思っています。

赤い田園の里創り事業



上新城集落営農改善組合 組合長 鈴木清和さん



琴平相撲は、10月の第1日曜日に琴平神社で行われます。釜子小だけでなく、小野田小の多くの生徒たちも参加してくれました。

琴平相撲は東地域の年中行事として定着していましたが、震災で矢越神社・琴平神社が被害を受け、相撲ができない状況でした。伝統行事を復活させるため、平成25年に補助を受け、3年ぶりに開催することができました。
琴平神社で行われる相撲は、伝統の奉納相撲のほか、一般の方や子どもも参加できるなど、見ている方だけでなく参加する方も楽しめるのが魅力です。
市内で奉納相撲を開催しているのは釜子地区のみとなり、今後は、多くの地区の方が参加できる体制を整え、伝統行事を通して、地域をさらに輝かせるものにならしたいと考えています。

琴平相撲復活祭事業



琴平相撲復活活性化委員会 代表 市川淳一さん



「Sunny Day Sunday」は10月にコンピエーニュー広場で開催しました。「大人の休日」を味わおうと、当日は多くの人でにぎわいました。

「魅力のあるまち」を真剣に考えたことの思いから、市内に住む大工や看護師、花屋や料理人など、様々な分野で活躍している若手を集め、活動を始めました。
「大人の休日」をテーマに、上質な音楽やアート、美味しい食に囲まれながら、休日の屋下がりゆったりとした時間を過ごせるよう「Sunny Day Sunday」というイベントを企画し開催しました。
今後も「ここでは味わえないものがイベントでは味わえる」をコンセプトに催しを企画し、地域の活性化につながる活動をしていきたいです。

Sunny Day Sunday事業



SHIRAKAWA Fun humans 代表 菊地 理さん

白河市地域づくり活性化支援事業

地域の特性をいかした自発的な取り組みで、地域活力の向上につながる事業に、活動資金の一部を補助します（補助率は、事業経費の3分の2以内で、50万円を限度）。

ただし、国・県などから支援を受けていたり、政治、宗教、営利目的であったり、物品の購入や委託の経費が大半を占める事業は補助金の交付対象になりません。

詳しくはお問い合わせください。

平成27年度に採択された事業

白河地域

- Sunny Day Sunday事業
- 白河歴代藩公行列事業
- 第3回家族のさずなエッセイ募集事業
- 地域協働災害ボランティアネットワーク構築事業

大信地域

- 赤い田園の里創り事業
- オリジナル太鼓作曲・技術指導会事業
- 隈戸川音頭保存事業
- 中新城甚句保存事業

表郷地域

- 深渡戸地区伝統行事の復活事業
- 手作り絵本で復興応援事業
- 未来へ続け「いきいき生け花」体験教室事業
- 牛頭天王祭事業
- 災害に強い地域コミュニティ強化事業

東地域

- 釜子商店会地域活性化プロジェクト事業
- 琴平相撲復活祭事業
- 野出島のまつり推進事業



表郷幼稚園では、50人がクリスマスの花づくりに取り組みました。また、この事業を通して、世代間交流にもつながりました。

「華道連名花の会」も今年で23回目を数え、華道展の開催中には、幼児から80才を超える幅広い年代の方に生け花体験をしていただきました。作品はそのまま持ち帰ることができ、大変喜ばれました。
今後も伝統文化の生け花を継承しながら、地域の活性化につながるような活動をしていきたいと思っています。

未来へ続け「いきいき生け花」体験教室事業



おもてごう華道連盟「花の会」 代表 滝田君子さん



白河が誇る優れた産品を紹介！

◎本庁舎農政課 内2225



白河ブランド
認証第13号・14号・15号
ブルーベリードリンク
コンポート・ジャム



良質な堆肥と低農薬で育てた白河産のブルーベリーは、酸味と甘みを最大限に引き出すため、大粒に育て完熟させてから摘み取っています。

果実を濃縮したドリンクは、ブルーベリー本来の味わいと香りが楽しめます。ジャムとコンポートは、爽やかな味わいが楽しめるよう、果実の原型を残して仕上げています。

～名産品を目指し良さを発信～

通年でブルーベリーを楽しんでいただけよう、今後もソースやゼリーなど新たな商品づくりに挑戦します。

多くの方に栽培され、市の名産品になるよう、今後は販路を増やして、より多くの方に良さを知っていただきたいと思ひます。



白河ブルーベリーの会
菅原修一さん

白河CM「だるまメイク流行中」が完成！

◎本庁舎秘書広報課 内2373

公募シナリオを基に作成した、本市をPRする30秒のCMが完成しました。

今年のタイトルは「だるまメイク流行中」。白河でだるまの絵柄を取り入れたメイクが流行している様子を、レポーターが取材するという内容です。実際にだるまメイクをした人が登場するなど、ユーモアあふれる楽しいCMに仕上がっています。

CMは、市ホームページ、市公式Facebookのほか市公式YouTubeチャンネルで視聴できますので、ぜひご覧ください。

●市公式Youtubeチャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCrFt2EB0ug7ub7Dcm1LS9Q>



●市公式Facebook
<https://www.facebook.com/city.shirakawa>



あらすじ



白河で流行っているメイクを取材するため、白河駅前に訪れたテレビ局のスタッフ



レポーターの質問に、「願いがかなうと言われているだるまメイクです」と答える女性たち



「だるまのまち白河ならではのですね」と締めくくり、自らもメイクをし始めるレポーター

特別企画展

松平定信とその時代

－藩主定信をめぐる人とモノ－



長谷川周春筆 松平定信像

本市と桑名市（三重県）の合同企画展として昨年開催した「大定信展—松平定信の軌跡—」に続く、特別企画展を開催します。今回は、特に本市や県内に残された定信の足跡にスポットを当て、定信に関わりのあった人や、まつわる物などを展示します。今月号では、企画展の概要を紹介いたします。

◎本庁舎文化財課（歴史民俗資料館） ☎2310

《開催概要》

- 日時 1月29日(金)～3月6日(日)／午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
※毎週月曜日は休館
- 会場 白河集古苑（郭内）
- 入館料 大人320円（250円）
※（ ）は20人以上の団体料金
※高校生以下無料

《学芸員による展示解説会》

- 日時 1月30日(土)、2月14日(日)、3月6日(日)／①午前11時から ②午後2時から
- 参加料 無料 ※入館料別途要、申込不要

松平定信と白河藩政

白河藩主松平定信は、南湖の築造をはじめとする事業を行っています。また、定信やその家臣たちは、領内各地を訪れ、歴史の調査を行った内容を書物や石碑などに残しています。

定信やその家臣たちが白河をはじめ、県内に残した足跡を紹介いたします。

県指定文化財
財 受苦図
(常宣寺蔵)



定信が見いだした画家たち

学問や芸術に幅広い知見を持つ文化人でもあった定信は、御付の絵師に登用された谷文晁をはじめ、多くの画家たちに活躍の場を与えています。

定信に見いだされ、県内で活躍した谷文晁、亜欧堂田善、白雲などの作品を通して、定信の文化面の足跡を紹介いたします。

県指定文化財 亜欧堂田善筆
陸奥国石川郡大隈滝芭蕉翁碑之図（句集「青かけ」）（須賀川市立博物館蔵）



定信の時代と県南地域

本市を含む県南9市町村は、定信の時代には白河藩領、他藩領、幕府領などに分かれ、それぞれ異なった歴史をたどっています。

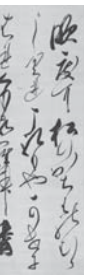
こうした県南地域の当時の様子や定信との関わりなどを、パネル展示で紹介いたします。

定信をめぐる近代の動き

明治時代以降、定信をまつる南湖神社の創建や定信の伝記が出版されるなど、様々な動きが起こりました。

実業家渋沢栄一が収集した定信の書など、定信をめぐる近代の動きを紹介いたします。

松平定信筆 和歌
「吹度」(東京都
公文書館蔵)





第21回中山義秀文学賞公開選考会
 県内出身、風野さんの「沙羅沙羅越え」が受賞

11月22日、白河信用金庫西支店新白信ビル（立石）で、優れた歴史・時代小説を顕彰する「第21回中山義秀文学賞公開選考会」が行われました。

作家の津本陽さん、竹田真砂子さん、安部龍太郎さん、文芸評論家の縄田一男さんら4人の選考委員が、32点の応募作品の中から最終選考に残った3作品を、公開形式で講評しました。選考の結果、風野真知雄さんの「沙羅沙羅越え」が選ばれました。本県出身の受賞者は初めてです。



▲公開選考会の様子

包括連携協定締結式
 経済活性化、子育て支援などで連携

11月25日、地域の活性化および市民サービスの向上を目的に、本市と㈱大東銀行との包括連携協定締結式が行われ、鈴木市長と鈴木孝雄取締役社長が協定書を交わしました。

締結式で、鈴木市長は「連携を強め、住みやすい白河をつくりたい」、鈴木取締役社長は「企業誘致や子育て支援などで協力し、市の発展に貢献したい」とそれぞれあいさつしました。今後は、経済活性化や子育て・防災支援などで連携を図っていきます。



▲協定書を交わす鈴木取締役社長（右）と鈴木市長

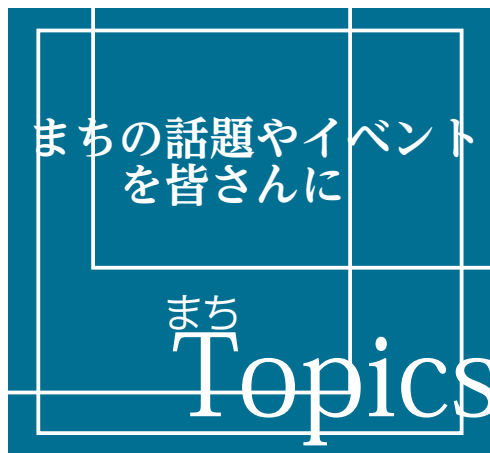
とよたかずひこさん講演会
 絵本の世界に触れる

12月12日、りぶらんで、「ももんちゃんあそぼう」シリーズや「でんしゃののって」などで著名な絵本作家、とよたかずひこさんを招き、「ももんちゃんあそぼうinしらかわ」と題した児童向け講演会が行われました。

とよたさんは、紙芝居や絵本の読み聞かせのほか、絵本創作のきっかけになったエピソードなどを話しました。会場に詰め掛けた親子連れは、絵本の世界に触れ、楽しいひとときを過ごしました。



▲絵本の読み聞かせをするとよたさん



▲光り輝くはたらくるまのイルミネーション

白河駅前イルミネーション
 美しい輝きが白河駅周辺を彩る

12月4日、えきかふえSHIRAKAWAウッドデッキ前（郭内）で、「白河駅前イルミネーション点灯式」が行われました。

市中心市街地活性化協議会が関係機関の協力を得て毎年行っているもので、今年は「明るく笑顔」をテーマに、約3万個の電飾がりぶらん（道場小路）からコンピエーニュ広場まで飾られています。今回、新たに光のトンネルが設置されたほか、白河商工会議所青年部の主催で、市内小・中学校、高校、企業が作成したペットボトルツリーが、JR白河駅前イベント広場を彩っています。

イルミネーションの点灯は1月31日(日)まで行っていますので、美しい輝きに彩られた風景を、ぜひご覧ください。



▲点灯式の様子

歴史まちづくりシンポジウム
 超高齢化社会に向け、今後のまちづくりを考える

11月14日、りぶらんで、「超高齢化社会における歴史都市の住生活まちづくり」と題したシンポジウムが開催されました。

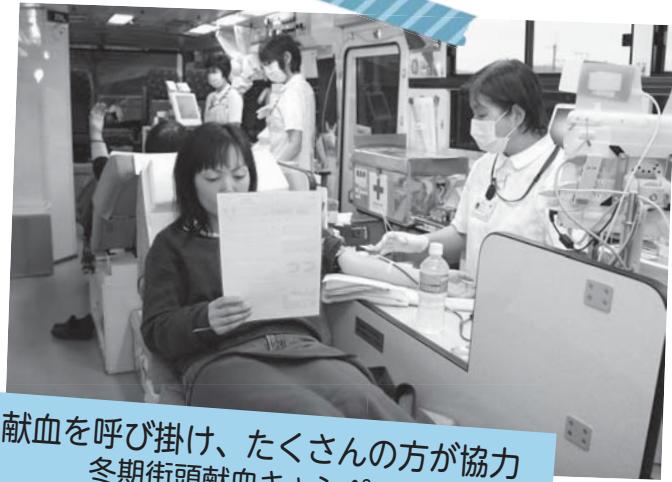
基調講演、各地のまちづくり先進例の解説のほか、パネルディスカッションが行われ、国の職員、日本建築学会に所属する専門家、市民で構成されたパネリストが、目指すべき市街地の将来像とそのためのもまちづくり施策について意見を交わしました。約140人の来場者は、興味深く耳を傾けていました。



▲パネルディスカッションの様子



特製キムチを作ろう♪
東公民館「わいわい家庭科教室」
12月7日/東保健センター(東上野出島)



献血を呼び掛け、たくさんの方が協力
冬期街頭献血キャンペーン
12月2日/JR白河駅前イベント広場



待ちに待った図書館がオープン
学校司書配置並びに図書館リニューアルオープン
12月2日/小田川小



火山灰を飛ばす実験を体験
図書館講座「火山のしくみ～那須岳は生きている～」
12月6日/りぶらん(道場小路)



獅子舞にビックリ!
たんぼサロン「ただじゅんのあそびとおはやしの劇場 だだすこだんだん!」
11月15日/りぶらん



貴重な話に耳を傾ける受講生
表郷公民館「福寿学級」市長講話
11月24日/表郷公民館(表郷番沢)



何個命中したかな?
「さわやかサロンあかさか」の皆さんとの交流会
11月27日/大信幼稚園



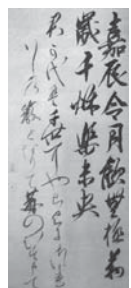
わーい! サンタさんからのクリスマスプレゼント!
おひさまひろば「クリスマス会」
12月11日/中央老人福祉センター「白寿園」(北中川原)

施設の催し★

▶歴史民俗資料館(中田7-1/☎@2310)

- 【利用案内】
◆開館時間 午前9時～午後4時
◆休館日 毎週月曜日(1月11日祝は開館し、12日(火)は休館)、1月1日(祝)～3日(日)
◆入館料 無料
【催し案内】
◇平常展示
「白河の歴史と文化」

※「祈りの文字-拓本と墨跡-」のコーナーを開催しています。



松平定信 和漢詩歌二首

▶白河集古苑(郭内1-73/☎@5050) 【利用案内】

- ◆開館時間 午前9時～午後4時
◆休館日 毎週月曜日(1月11日祝は開館)、1月1日(祝)～3日(日)
◆入館料 大人320円(250円)/小中高生100円(80円)
※()は20人以上の団体料金
※毎週土曜日は小中高生無料

- 【催し案内】
◇阿部家名品館
「阿部家伝来の遺宝と墨跡・文房具」

- 会期 1月11日(祝)まで



八橋時絵硯箱

- ◇結城家古文書館
「重要文化財 白河結城家文書と中世の美術」
ミニテーマ展「江戸時代の結城家-結城家のその後-」

- 会期 1月11日(祝)まで

- ◇特別企画展
「松平定信とその時代-藩主定信をめぐる人とモノ-」

- 会期 1月29日(金)から
※詳しくは、10ページをご覧ください。

＜お知らせ＞

館内修繕および展示替えのため、1月12日(火)から28日(木)まで休館します。

- ▶文化センター(中田140/☎@5220)

◇新春歌謡交流会

- 日時 1月17日(日)/午前9時から
●入場料 無料
☎星☎@2418
◇生涯学習講演会「自分をほめて元気になる!～ほめセラピー～」
●日時 1月24日(日)/午後1時30分から
●入場料 無料 ※要申込
●定員 200人 ※先着順
☎本庁舎生涯学習スポーツ課 内2383

特色ある活動を紹介

各幼稚園や学校で行っている特色ある活動を紹介します。今回は、白二中です。

～生徒の手による集会～

本校では、生徒自身が自分たちの力で学校生活の問題点を話し合う集会や、中体連大会前に応援団が中心になって開く熱い壮行会など、生徒の手により開催される集会が大きな特徴です。

学校生活を良くするため、これまでにパネルディスカッション形式で、「いじめ撲滅」や「ノーメディアの取り組み」などをテーマに、全員参加の話し合いを行っています。



▲「メディアに関する全校集会」の様子

また、毎年恒例の中体連総合大会や新人戦の壮行会では、応援団が全校生をリードし、ひととき大きな声が体育館に響き渡る元気な応援を繰り広げます。各部の部長は、これまでの練習を共に乗り越えてきた仲間や、支えてもらった家族・顧問の先生に感謝し、全力を發揮することを誓います。在校生も、応援団の音頭に合わせ大きな声を出し、選手健闘を心の底から願います。



▲中体連壮行会での応援団

これらの行事を通して、1年生は白二中の伝統を守り発展させている上級生のすばらしさを肌で感じるとともに、本校の一員になった誇りと自信を持ち、早く立派な上級生になりたいと実感していきます。

今月号は「教育大綱」を紹介！

きょういっ
ホット情報

熱!!

■教育関係のホットな情報を皆さんへ

市教育大綱を策定

地方教育行政法の改正に伴い、市長と教育委員会がこれまで以上に連携し、住民の意見を反映した教育行政を推進するため、総合教育会議を設置することになりました。同会議は市長、教育長を含む5人の委員で構成されています。

12月1日、「平成27年度第1回白河市総合教育会議」を開催し、本市が目指すべき人づくりの基本方針となる「白河市教育大綱」を策定しました。今後、市では策定した大綱に基づき、教育施策を進めていきます。



▲「第1回総合教育会議」の様子

白河市教育大綱

先人のたゆまぬ努力により紡いできた、郷土の長い歴史と豊かな文化を受け継ぎ、将来につなげ、さらに発展させるために、次に掲げる人づくりに努め、「未来を切り拓く人間力」を育みます。

- 1 郷土を知り、郷土を愛する人
- 2 幅広い文化・芸術に親しむ人
- 3 自ら学び、自らを高める人
- 4 自ら判断し、自ら行動する人
- 5 礼儀正しく、思いやりの心を持つ人
- 6 自然を敬い、自然を大切に人
- 7 健やかな体を育む人
- 8 世界にはばたく高い志を持つ人

☎本庁舎企画政策課 内2324

りぶらんだより Libran

Movie

映画上映案内
りぶらん地域交流会議室で上映される映画です。入場無料です。

映画で感性を磨く!!

大人向け 「父の詫び状」

■日時 1月20日(水)
午後6時～7時30分

子ども向け 「名探偵ポワロとマープル」

■日時 1月16日(土)
午後1時30分～2時20分

「王さまでかけましよう／白いぼうし」

■日時 2月20日(土)
午後1時30分～2時10分

Event

子どもたちが本を愛するように。

本が好きなになる!!

ちびっこおはなしのくに
■日時 1月21日(木)、2月4日(木)
午前11時～11時30分
■会場 おはなしの小屋
■対象 0歳～3歳程度

おはなし会
■日時 1月23日(土)、2月13日(土)
午前11時～11時30分
■会場 おはなしの小屋
■対象 3歳～小学生程度

Exhibition

毎月、季節に合わせた本を展示しています。

季節の話題に触れる!!

大人の本 「おうちがいちばん！」

新年が明けて、まだまだ寒い冬。暖かい家でのおんびり過ごすのも良いですね。読書はもちろん、他にもみんなで遊べるカードゲームや、ひとりでも楽しめる折紙や手芸など、家の中で楽しむための本を集めました。

子ども本 「和に親しむ」

今月は、「和に親しむ」と題して、日本の伝統を伝える本を集めました。日本の遊び、料理などの文化や、古くから語り継がれる昔話に触れてみましょう。

◎りぶらん (市立図書館) 開館時間 平日10:00～20:00 土・日・祝日9:30～18:00 ☎3250 休館日 月曜日、第1水曜日 (祝日の場合は開館し、翌日は休館)

◎表郷図書館 開館時間 10:00～18:00 ☎4784 休館日 祝日、火曜日、第1水曜日 Event 《おはなし、よんで! (0歳～小学校低学年対象)》 ■日時 毎週土曜日/随時

◎大信図書館 開館時間 10:00～18:00 ☎3614 休館日 月曜日、祝日の翌日 Event 《絵で見るお話の会》 1月から3月まではお休みします。

◎東図書館 開館時間 10:00～18:00 ☎1130 休館日 祝日、火曜日、月末日 Event 《図書館であそぼう! (0歳～6歳対象)》 ■日にち 毎日 ※視聴覚室使用日を除く

くらしの 情報館

ホームページアドレス
http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/

☎=問い合わせ先

内=内線番号

◇本庁舎 八幡小路7-1 ☎②1111/Fax⑦2577

◇表郷庁舎 表郷金山字長者久保2 ☎③2111/Fax②2234

◇大信庁舎 大信増見字北田58 ☎④2111/Fax④2409

◇東庁舎 東釜子字殿田表50 ☎③42111/Fax③43584

募集

白河の歴史学びの会

観光ボランティアガイド「ツーリズムガイド白河」による歴史「学びの会」を開催します。お気軽にご参加ください。

- 日時 1月20日(水)／午前7時50分から ※城山公園駐車場(郭内)集合
- 場所 矢吹町、泉崎村方面(泉崎村資料館、ふるさと館、観音山館跡、五本松・奥州街道等)

あんしんサポートブック説明会

サポートブックの活用方法や書き方についての説明会を開催します。

サポートブックは、障がいのある方の特性や接し方などの情報を書き記した手帳のことです。これをつくることで、医療機関や接する方などが情報を共有できるほか、障がいのある方がいつでも同じ支援を受けることができるようになります。

- 日時 1月21日(木)／午前10時～正午
- 会場 県南保健福祉事務所(郭内)
- 参加料 無料
- 定員 15人 ※先着順
- 申込期限 1月14日(木)まで
- 申し込み・問い合わせ先 本庁舎社会福祉課 内2714

第21回中山義秀文学賞 「贈呈式・受賞記念講演会」

第21回中山義秀文学賞の贈呈式と、受賞作「沙羅沙羅越え」の著者、風野真知雄さん

- 参加料 無料
- 定員 25人 ※先着順
- 申込期限 1月15日(金)まで ※詳しくはお問い合わせください。
- 申し込み・問い合わせ先 (公財)白河観光物産協会 ☎②1147

初心者茶道教室

お茶とお菓子のいただき方や、茶会でのあいさつなど一連の動作を体験できます。

- 日時 2月9日・16日・23日、3月1日 火曜日／午前10時～正午
- 会場 翠楽苑(南湖公園内)
- 受講料 3,200円(4回分、入園料等も含む)
- 定員 10人 ※先着順(原則として4回の参加が可能な方)
- 申込開始 1月18日(月)から(電話申込可)
- 翠楽苑 ☎③6888

白河准看護学院学生

受験資格 高校卒業(見込みを含む)、または同等の学力を有する方(中学校卒業で

- 日時 2月7日(日)／午後1時30分から
- 会場 白河信用金庫西支店新白信ビル(立石)
- 入場料 無料
- ※演題など、詳しくはお問い合わせください。
- 中山義秀顕彰会事務局(中山義秀記念文学館内) ☎④3614

指定管理者の公募

市では、次の施設の指定管理者を募集します。

- 施設名 大信地域市民交流センター(大信増見)
- 募集要項・申請用紙 本庁舎農政課または市ホームページで取得してください。
- 応募方法 「指定管理者指定申請書」に必要事項を記入し、関係書類を添付のうえ、持参または郵送(当日必着)で提出してください。
- 応募期限 1月27日(水)まで ※詳しくはお問い合わせください。
- 申し込み・問い合わせ先 本庁舎農政課 内2222

も履修が可能と認められる方を含む)※年齢・性別不問

- 定員 30人
- 試験科目 国語、数学、作文、面接
- 試験日 2月4日(木)
- 試験会場 白河医師会白河准看護学院(北中川原)
- 受付期間 1月6日(水)～21日(木)(郵送は期間内必着)
- ※募集要項および出願書類の郵送を希望する場合は、送付先の住所・氏名を記入のうえ、140円切手を貼った角2号封筒を同封してお申し込みください。
- 申し込み・問い合わせ先 白河医師会白河准看護学院 〒961-0054白河市北中川原313 ☎③3701

パソコン教室

《夜間基礎講座》

- 日時 2月22日(月)～3月28日(月)(3月21日(月)を除く毎週月・水・金曜日)／午後6時30分～8時30分
- 会場 市産業プラザ人材育成センター(中田)
- 受講料 1万800円
- 内容 ワード、エクセルの

まちかど伝言板

カンボジア地雷撤去支援

カンボジアでは、今でも地雷や不発弾で、罪のない方が被害を受けています。(一財)カンボジア地雷撤去キャンペーンでは、一刻も早く被害をなくすため、書き損じハガキ、未使用テレホンカード、未使用切手を集め換金し、地雷撤去団体に寄付しています。

- 皆さんのご支援をお願いします。
- ※ハガキ3枚で1m²の地雷原をクリーンにできます。
- 問い合わせ・送付先 同事務局 ☎092-833-7575 / 〒814-0002福岡市早良区西新1-7-101702

新春初笑い寄席

- 日時 1月17日(日)／午後2時から
- 会場 はくしんイベントホール(旭町)
- 出演 三遊亭円左衛門ほか

- 基礎固め
- 定員 20人 ※先着順
- 申込開始 1月20日(水)から
- 受付時間 午前9時～午後5時 ※平日のみ
- 申込方法 受講料を添えて、センター窓口へ直接お申し込みください。
- 同センター ☎③3512

案内

文化財防火デー

1月26日は、「文化財防火デー」です。貴重な文化財を災害から守るため、市および白河消防署では、地元消防団の協力を得て、防犯訓練を行いますので、ご協力をお願いします。

- なお、当日は、消防署員や消防団員が出勤しますので、火災と間違えないようご注意ください。
- 日時 1月24日(日)／午前9時から
- 会場 (伝)金売吉次兄弟の墓(白坂)
- 文化財課(歴史民俗資料館) ☎⑦2310

- 入場料 500円(75歳以上無料)
- (公財)立教志塾 ☎③1427 / (公社)白河法人会 ☎③2160

災害に強いまちづくり講習会

- 日時 1月17日(日)／午前9時～午後3時
- 会場 表郷公民館(表郷番沢)
- 内容 講話、ミニコンサート、炊出し訓練、救急法講習会等 ※炊出し訓練および救急法講習会に参加希望の方は、事前にお申し込みください。
- NPO法人表郷ボランティアネットワーク 藤田 ☎080-5557-7072

復興支援無料税務相談会

- 東北税理士会白河支部では、震災や原発事故に関わる税の無料相談会を開催します。
- 日時 1月24日(日)、2月23日(火)／午前10時～午後4時
- 会場 市産業プラザ人材育成センター(中田)
- 東北税理士会白河支部 ☎③3563

白河文化交流館の愛称が「コミネス」に決定

今月号では、投票等の結果と工事の状況をお知らせします。

本庁舎文化振興課 内2387

《愛称募集と市民投票の結果》

白河文化交流館が末永く愛され、身近で親しみのある施設となるよう愛称を募った結果1,206件の応募があり、その中から最終候補6作品を選考し、市民投票で「コミネス」に決定しました。多数の応募と投票をいただき、ありがとうございました。

今後は、ロゴ・シンボルマークを作成し、パンフレットやチラシなどに幅広く活用していきます。

愛称募集

●応募総数 1,206件



白河文化交流館愛称選考委員会等による選考

●最終候補数 6作品



市民投票

●投票総数 3,032票
※有効投票数 2,975票

受賞結果

賞名	作品名	氏名	備考
最優秀賞	コミネス	菊池忠行さん	得票数746票
優秀賞	ラ・フォルテ	同上	辞退
	小峰城ホール	深谷正二さん	9名の中から抽選で決定
	こみねホール	鈴木奈夏海さん	5名の中から抽選で決定
	コミュニネしらかわ	渡辺彩子さん	
	ラクーザしらかわ	西尾光俊さん	

※優秀賞の「小峰城ホール」および「こみねホール」は、応募者が複数のため、抽選で受賞者を決定しています。



「コミネス」は、白河文化交流館が白河のシンボルである小峰城に隣接した施設であることから小峰城の「コミネ」と、地域社会・共同体を意味する「コミュニティ」をあわせ、白河地域のコミュニティの中心になって欲しいとの願いが込められています。

《工事の状況と開館までの流れ》

現在、平成28年秋のオープンに向け、建物の建設工事が進められていて、8月末には完成する予定です。その後、音響・照明設備等の使用方法の確認等を行い開館となります。



▲イメージ図と同じ交差点からの光景



▲りぶらん方面（東側）からの光景



▲子どもたちが仮囲いに描いた絵



市長の
手裡え帖

『おもしろく働く』

白河市長
鈴木 和夫

あけましておめでとうございます。皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのことと思います。四海波高し。主要国がイスラム過激派への共同戦線を組んだものの、ロシアとトルコに暗雲が漂う。第一次大戦発端のように、思わぬ方向に行かなければと懸念する。EUもギリシャ問題に加え、難民の受け入れで大揺れ。成長が鈍る中国は、人民の不満をそらすためか、ナシヨナリズムに訴え周囲に緊張が走る。TPPなど大きな圏域での自由な経済活動には、激しい競争が待ち構える。

日本の抱える課題も重い。雇用の確保や子育ての充実、教育費の負担軽減等の少子化対策。団塊世代の高齢化に伴う介護・医療・年金への対応。さらに異常に膨れ上がった国債。幸い超低金利で利払いが抑えられているが、金利が上がったらどうなるのか。戦後のハイパーインフレで、国債が紙くずになった歴史もある。

そして経済は。ここのとこ株価は上向きで税収は増えている。でも労働者の賃金や、山すそを形成する中小企業への波及は十分でない。常に時代は変わり、産業構造も変わる。社会から退場する企業もあれば、新しいビジネス市場も生まれる。ここに独自の技術や販売を事業化する「ベンチャー」が出てくる。ベンチャー企業の雄といわれる人を思い出す。

堀場雅夫氏。京都の堀場製作所の創業者で、昨年7月90歳で逝去された。自動車排気ガス測定で世界の8割のシェアを誇る。分析機器の分野で優れた開発・技術力を有し、独特の社風を持つ。

13年前のこと。福島駅西口に経済団体が入ったビルが完成した。起業者支援の役割を担うこともあり、記念講演をお願いすることになった。早速京都に飛んだ。府庁にほど近いホテルでお待ちした。ピタリ時間に見えられた。がっちりした体に大きくいかつい顔。白髪に炯々たる眼光。80歳近くとは思えない精気がみなぎっていた。自らの才覚で道を切り拓いてきた、一流の人の風圧を感じた。

「今まで、目利き委員会をやってきたのや」。目利き？いぶかしげな私に、「見込みのあるベンチャー人を発掘し、世に出す手伝いをしてるのや」。厳しい審査を通ると、一定額まで無担保で低利融資を受けられる。堀場さんが委員長、委員にはワコーや日本電産の社長ら、京都の錚々たる経済人が名を連ねる。人間性、将来性、技術力を試される申請者は、ちぢみあがるほど怖いだらうと思った。

土湯の奥の温泉に宿をとった。同伴の奥様を交えた夕食は楽しかった。強面の奥様がほころび、実にいい表情で、仕事や人生について話された。奥様の話も印象的だった。狭い部屋での新婚生活。休日も部屋にこもり部品を組み立てる夫。資金の工面。うちの人は研究や開発、モノをつくるのに夢中、とにかく仕事が好きなんです。昔を懐かしむように語る。顔に夢を追う夫の姿が好き、と書いてあった。

堀場さんは京大で、原子物理学者を目指していた。敗戦で断念。企業人を目指したわけではないが、独自の研究をしたくて無線研究所を立ち上げる。日本初の学生ベンチャー。だが事はそううまく運ばない。失敗につぐ失敗。不良品がひとつあっても製品にならないことを痛感。優れた部品づくりを徹底する姿勢が、会社の理念となり今に引き継がれている。

昭和28年株式会社へ。この時、「事業はよく分らんが、若いのが一生懸命取り組んでいるのやから」と、財界人が個人の資金を出してくれた。若手起業者の育成に力を尽くしたのは、この恩に報いようとの気持ちで背景にある。本人の情熱は勿論だが、京都の経営者に将来を見込んでくれた目利きがいたことは幸いだった。

寝ても覚めても開発、試作。でも好きなことは苦にならない。ソニーやホンダの創業者もそうだが、仕事に夢を追い、キラキラ輝く人のまわりには人が集まる。同志的な結びつきができる。自由闊達な雰囲気には、挑戦する心が根づく。自然と人が育ち、企業は強くなる。堀場はいう、「人生80年のうち、最も貴重な40年を使う仕事があるのか。おもしろいと思えるなら、情熱を持って働く。高い給料をあげても、楽しくなかったら良い仕事はできないし、新しいアイデアも出ない」。

おもしろおかしくは、社是となった。好きな研究に没頭し、新製品を追い続けているうち一流の企業になっていった。傍からは困難に見える道を、おもしろく楽しげに、駆け抜けた快男児がいた。

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業があり、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。「企業のちから」は、市内の企業やものづくり・人づくりを紹介するコーナーです。

市内企業のものづくり・人づくりを紹介！
企業のちから

No45 The company in Shirakawa

(有)樽川企画

住所：本沼北裏27-1
事業内容：ビジネスユニフォーム製造業



**日本製の生地や糸など素材にこだわり
品質の良さと着心地を追求**



- 1 製品のサンプル。着心地にこだわり、何度も試作を繰り返し製品化しています。
- 2 工場の外観。県道沿いで、周りは田園風景が広がっています。
- 3 従業員の皆さん。明るく笑顔のある職場で、四季折々の植物が置かれています。
- 4 1から50枚まで自動で生地を裁断する機械「キャム」。生地の無駄が出ないよう図面を設計し、裁断しています。
- 5 ミシンを使った裁縫作業の様子。女性だけの職場環境ということもあり、若年者が積極的に相談し、縫製技術を教わっています。
- 6 「地域の人との交流を大切に、地域に貢献したい」と話す樽川さん。

「私たちの会社は、全国展開をしている飲食チェーン店やプロ野球チームのチアガール、有名ホテルなどで使用されるユニフォームの上着を専門に受注生産しています。熟練された縫製技術と最新の機械設備で、着心地の良い製品を短期生産しています」と話す代表取締役の樽川昇さん。

樽川企画は、平成15年に東釜子で創業。工場が手ぜまになり、交通の利便性や従業員が勤務しやすい環境を考え、今年5月に工場を新築し、移転しました。敷地面積は1,340㎡、従業員は23人。そのほとんどが本市や近隣の町村から採用されています。

肌触りが良く、軽量で耐久性のある生地や、切れにくい丈夫な糸などにこだわり、素材はすべて日本製のものを使用しています。着心地を良くするため、縫い方や細部にゆとりを持たせるなど、蓄積されたノウハウと熟練の技をいかした製品づくりをしています。また、安全に対する講習会を定期的に行うことで、日本ファッション産業協会より今年「J-Quality」の認証を受けました。

「今後も、着る人のことを考え、より技術力の高い製品づくりに挑戦し、様々な要望に答えていきたい。また、若い人たちに興味を持たれる会社を目指したい」と樽川さんは話してくれました。

「いいね！」を押して市の情報をチェック



白河市公式ページ



<https://www.facebook.com/city.shirakawa>

Introduction of the cover

今月号の表紙

今月号の表紙は、東蕪内地域を流れる阿武隈川に渡来した白鳥です。白鳥は、越冬のため晩秋から初冬に渡来する渡り鳥で、この場所では、30羽を超える白鳥の姿が見られました。市内では、南湖公園や大池（表郷梁森）などが、白鳥の飛来地として知られています。

東南地方の癒しのスポット
を見つけてみよう!!
HEALING
癒し

あゆの塩焼き
鮎釣りのメッカとして名をはせる久慈川は、水がきれいの良いこけがでできます。それを食べて成長する鮎は、味も姿も日本一といわれています。

戸津辺の桜
樹齢600年を超える県指定天然記念物のエドヒガンザクラ。県内では一番に花をつける早咲きの一本桜です。

滝川渓谷遊歩道
全長3kmの遊歩道は、四十八の滝がある県内でも珍しい秘境の地です。美しい滝、巨大な奇岩や天然の老木が訪れる人を癒します。

豊かな大自然を五感で満喫できる矢祭町に、ぜひお越しください。詳しくは矢祭町役場事業課 (☎0247-46-4576) まで。

Shirakawa's holiday
しらかわの休日。
Let's go out.
今回は、塙町をご紹介します!!

矢祭町には「奥久慈県立自然公園矢祭山」、「あぶくまの秘境 滝川渓谷遊歩道」、「戸津辺の桜」など、大自然を満喫できるスポットが目白押し! 味覚とともに四季折々の風景をお楽しみください。